

2022年度 第2回

あしぎんマロニエ県庁コンサート

とき：2022年7月6日（水）12:10~12:50

ところ：栃木県庁舎 本館1階・県民ロビー

出演：JNRs(ジェイエヌアールズ)

演奏曲目

1. フライ・ミー・トゥー・ザ・ムーン 作詞作曲：バート・ハワード

この曲が発表されたのは1954年でしたが、当初はワルツ曲として作られ、現在知られている曲の感じとは、少し違った雰囲気だったようです。やがてボサノバ調にアレンジされたのち、あのフランク・シナトラがカバーして大ヒットしました。日本的な奥ゆかしさを感じる歌詞です。

2. 愛の讃歌 日本語訳詞：岩谷時子 作曲：マルグリット・モノー

フランスで1950年に発表。日本では越路吹雪の歌唱が特に有名で、当時越路のマネジャーだった岩谷時子がフランス語原詩とは異なる甘い訳詞に翻訳して人気を得ました。本日は成田リナがコンサートで必ず唄ってきた、彼女ならではの歌唱をお楽しみください。

3. テネシー・ワルツ 作詞：レッド・スチュワート 作曲：ピー・ウィー・キング

1948年に発表され、2年後にアメリカのパティ・ペイジがカバーしたものがミリオンセラーの大ヒット。日本では、江利チエミがカバーしたものが有名です。本日はジャズ歌手として都内など幅広く活躍する田中淳子の、甘くメロウな歌声をお楽しみください。

4. 恋のバカンス 作詞：岩谷時子 作曲：宮川泰

1963年に発表された、ザ・ピーナッツの歌唱による有名曲。ジャズの4ビートを活かし、それまでの歌謡曲になかったスタイルが受けて大ヒット。フランス語で休暇を意味するバカンスという言葉が日本で流行した草分けとも言われています。

5. 県民の歌 作詞：岡きよし 作曲：川島博

1960年代に入り、全国で新しい都道府県歌が制定されている機運を背景に、栃木県も歌詞、曲ともに公募し、昭和37年に制定されました。ピアノと歌唱による演奏をお楽しみください。



※曲目・曲順は変更になる場合があります。

主催：栃木県 県民生活部 県民文化課 (TEL 028-623-2153)

令和4年度ネーミングライツパートナー：株式会社 足利銀行

印刷協力：株式会社 松井ピ・テ・オ・印刷

JNRs

村田 望

成田 リナ

田中 淳子



小山市出身。ジャズ歌手。

日本最大のジャズ・ボーカル・ハウス在学時には、新人賞、奨励賞など数多くの賞を受賞。更にビクター音楽カレッジ在学中には、オリジナルコンペにて金賞、銀賞など多数獲得。現在、都内近郊を中心に全国各地にてプロ活動中。宇都宮市での出演も多数。近年、2枚のCDリリースや作曲家としてもデビューするなど、多方面で活躍中。

宇都宮市出身。

ジャズ・ピアニスト。

3歳からピアノを始め、高校2年でジャズに目覚める。創価大学時代にプリンス・マーシー・ジャズ・オーケストラに所属し、ジャズの全国大会である山野ビッグバンド・ジャズ・コンテストで3年間ソリストを務める。2010年に大学を首席卒業し、故郷である宇都宮を拠点に演奏活動を開始し、現在は関東、東北を中心に演奏活動を展開している。アルバム参加も多数。

静岡県出身。歌手。

10代の頃から「スター誕生!」など数々のオーディション番組に出演し高評価を獲得。小山市内の生演奏サロンにてスカウトされ元マヒナスターズのメンバーに師事し、10年間同店の専属歌手を務める。2014~16年には、吉田正記念オーケストラのコンサートに於いて、那須町や野木町など4回のゲスト出演を果たす。現在は3年前より小山市FM局「おーラジ」でパーソナリティとして地元情報や音楽番組などを発信しており、その傍ら様々な形で音楽活動を展開中。

出演者からのメッセージ

あしぎんマロニエ県庁コンサート開催の趣旨に賛同し、地元の文化事業に恩返しをするため、個々に活動しているメンバーが結集したスペシャルトリオです。

音楽ジャンルは違っても、地元である栃木を愛する心はひとつ。お馴染みの曲ばかりを選びましたので、お楽しみ頂ければ幸いです。

新型コロナウイルス感染症対策のお願い

- 発熱や風邪の症状がある方は御来場をお控えください。
- マスクを着用してください。
- 手指消毒や手洗いを行ってください。
- 客席入場時に検温の御協力をお願いします。



「あしぎんマロニエ県庁コンサート」今後の予定

- 8月3日(水) 歌とピアノのコンサート♪
野城充生 (テノール) & 岩下淳子 (ピアノ)
- 9月7日(水) アンサンブル クロイツ フルート・ファゴット・ピアノ
- 10月5日(水) 棚瀬敬太 津軽三味線
- 11月2日(水) 神山有里、佐瀬珠奈子、長雅大
フルート・ピッコロ・ピアノ
- 12月7日(水) 佐野日本大学高等学校吹奏楽部

